

授業科目名	教育研究入門		
科目番号	1306011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次	時間割	秋 AB 金 1
担当教員	根津 朋実, 蒔苗 直道		
授業概要	教育研究への導入を目的として、平易な入門者向けテキストを使用し、研究の初歩を学ぶ。		
備考	教育学類生に限る		
授業形態	講義		
科目群			
水準・区分			
教育目的	教育学研究に関する基本的な文献等を用い、広く教育について考察する。		
到達目標	教育学研究の領域、内容、研究方法に関する基礎的知識を有し、基礎的技法を用いることができる。		
キーワード	教育, 教育学, 研究方法		
各回授業計画	第 1 回ガイダンス:授業の目的、方法、計画について説明する。 第 2 回教育学文献検索 1:先行研究、文献、資料等の検索方法 (講義、演習) 第 3 回教育学文献検索 2:先行研究、文献、資料等の検索方法 (講義、演習) 第 4 回教育学文献講読 1:担当した文献等に関するグループ発表及び討議 第 5 回教育学文献講読 2:担当した文献等に関するグループ発表及び討議 第 6 回教育学文献講読 3:担当した文献等に関するグループ発表及び討議 第 7 回教育学文献講読 4:担当した文献等に関するグループ発表及び討議 第 8 回教育学文献講読 5:担当した文献等に関するグループ発表及び討議 第 9 回教育学文献講読 6:担当した文献等に関するグループ発表及び討議 第 10 回教育学文献講読 7:総合的なディスカッション 第 11 回		
履修条件	教育学類の学生に限る		
成績評価方法	授業への参加、発表、レポート等による総合評価		
授業外における学習方法	担当した文献等に関するグループワーク、図書館等における文献の検索・収集及び精読		
教材・参考文献	第 1 回のガイダンスにおいて指示する。		
オフィスアワー・連絡先			
履修者へのメッセージ	課題意識を持ち、主体的・積極的な参加を期待する。		

授業科目名	クラスセミナー		
科目番号	1312012	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次	時間割	秋 AB 金 6
担当教員	塩谷 真弘		
授業概要	クラスの担任と話し合いを通じて、自然科学への理解を更に深める。		
備考	数学類生に限る 数学 1 クラス		
授業形態	演習		
科目群			
水準・区分			
教育目的	1 学期のフレッシュマン・セミナーに引き続き、大学での勉学や学校生活を有意義かつ円滑にすすめるためにはどうすれば良いか、クラス担任も交えて共に考え議論します。		
到達目標	充実した大学生活を送るため、数学を学ぶ意欲を高め、自発的な学習姿勢を身につけること。		
キーワード			
各回授業計画	フレッシュマンセミナーに引き続き、クラスセミナーも参加者全員で創り上げて行きます。参考までに過去の例を紹介します。受講生皆さんの創意工夫に大いに期待しています。 (1) はじめに 授業履修申請、TAINS の入力など (2) 講義・演習の感想の報告、講義内容の共有 受講生同士で講義の内容の難解な個所を認識し合い相談しながら克服する。 (3) グループ別課題研究発表 グループ別に数学や数学教育に関するテーマを選び調査研究して発表する。 (4) 学内諸施設、つくば市内研究所等見学 (5) 学内行事への参加・企画打ち合わせなど		
履修条件	理工学群数学類 1 年生 1 クラス		
成績評価方法	出席、発表等による。		
授業外における学習方法			
教材・参考文献			
オフィスアワー・連絡先	自然系学系棟 D602		
履修者へのメッセージ	このセミナーを通して数学を主体的に学ぶ姿勢を養いながら、学生同士の良好な人間関係築き上げて欲しい。		

授業科目名	クラスセミナー		
科目番号	1312022	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次	時間割	秋 AB 金 6
担当教員	永野 幸一		
授業概要	クラスの担任と話し合いを通じて、自然科学への理解を更に深める。		
備考	数学類生に限る 数学 2 クラス		
授業形態	演習		
科目群			
水準・区分			
教育目的	春学期のフレッシュマンセミナーに引き続き、大学での勉学や学生生活を有意義かつ円滑にすすめるためにはどうすれば良いか。クラス担任も交えて共に考え議論します。		
到達目標	充実した大学生活を送るため、数学を学ぶ意欲を高め、自発的な学習姿勢を身につけること		
キーワード	大学生活のオリエンテーション, 数学的考え方・学び方, クラス活動, クラス内交流		
各回授業計画	フレッシュマン・セミナーに引き続き、クラスセミナーも参加者全員で創り上げて行きます。参考までに過去の例を紹介します。受講生の皆さんの創意工夫に大いに期待しています。 (1) はじめに 授業履修申請、TWINS の入力など (2) 講義・演習の感想の報告、講義内容の共有 受講生同士で講義内容の難解な箇所を認識し合い相談しながら克服する。 (3) グループ別課題研究発表 グループ別に数学や数学教育に関するテーマを選び、調査研究して発表する。 (4) 学内諸施設、つくば市内研究所等見学 (5) 学内行事への参加・企画打ち合わせなど		
履修条件	理工学群数学類 1 年生 2 クラス		
成績評価方法	出席、発表等による。		
授業外における学習方法			
教材・参考文献	特になし		
オフィスアワー・連絡先	自然系学系棟 B 棟 8 階 B816 nagano at math.tsukuba.ac.jp		
履修者へのメッセージ	このセミナーを通して数学を主体的に学ぶ姿勢を養いながら、学生同士の良好な人間関係を築き上げて欲しい。		

授業科目名	クラスセミナー I		
科目番号	1313012	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次	時間割	秋 AB 金 6
担当教員	久野 成夫		
授業概要	テキストなどの論講や研究施設の見学、研究室の訪問などを通じて、物理学の各専門分野への興味と理解を広める。あわせて、学生生活を有意義なものにし、将来の実社会での活動にも役立つ知識と経験を身につける。		
備考	物理学類生に限る 物理 1 クラス		
授業形態	演習		
科目群	発表・討論を含む。		
水準・区分			
教育目的	大学での勉学を有意義なものにし、充実した学生生活を送り、実社会で活動していけるようになるための基礎となる知識・経験を身につけるにはどうすればよいかを共に考え議論する。また、テキストの論講や研究施設の見学等を通じて、物理学の各専門分野への興味・理解を深める。		
到達目標	クラス内での議論や実習、クラス行事への参加を通じて、物理学や実社会の問題を自分の力で考えて理解し、解決する習慣を身につける。		
キーワード	クラスセミナー		
各回授業計画	(1~10) 以下のような実習を適宜クラスで相談して行う。 ・学園祭、ニュートン祭 (物理学専攻)、スポーツデーなどの活動の相談 ・専門分野の紹介、学内または近郊の研究施設の訪問、研究の現場の見学 ・テーマを決めて、それに関するプレゼンテーション、およびディベートを行う ・興味を広め専門分野への入門となるテキストのセミナーなど		
履修条件	理工学群物理学類 1 年次生		
成績評価方法	出席・発表・行事への参加等による。		
授業外における学習方法	クラス行事への積極的な参加、自主ゼミの企画・参加など		
教材・参考文献	適宜指定する。		
オフィスアワー・連絡先	金曜 5 時限、計算科学研究センター 2 階 202		
履修者へのメッセージ	安全・健康に留意し、充実した学生生活を送って下さい。		

授業科目名	クラスセミナー I		
科目番号	1313022	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次	時間割	秋 AB 金 6
担当教員	山崎 剛		
授業概要	テキストなどの輪講や研究施設の見学、研究室の訪問などを通じて、物理学の各専門分野への興味と理解を広める。あわせて、学生生活を有意義なものにし、将来の実社会での活動にも役立つ知識と経験を身につける。		
備考	物理学類生に限る 物理 2 クラス		
授業形態	演習		
科目群			
水準・区分			
教育目的			
到達目標	クラス内での議論や実習、クラス行事への参加を通じて有意義な学生生活を送るための情報や経験を得ます。		
キーワード	クラスセミナー		
各回授業計画	(1~10) 以下のような実習を適宜クラスで相談して行います <ul style="list-style-type: none"> ・学園祭、ニュートン祭 (物理学専攻)、スポーツデーなどの活動の相談 ・専門分野の紹介、学内または近郊の研究施設の訪問、研究の現場の見学 ・テーマを決めて、それに関するプレゼンテーション、およびディベート ・興味を広め専門分野への入門となるテキストのセミナーなど 		
履修条件	理工学群物理学類 1 年次生		
成績評価方法	出席、発表、行事への参加等による。		
授業外における学習方法	クラス行事への積極的な参加、自主ゼミの企画・参加など。		
教材・参考文献	特になし。		
オフィスアワー・連絡先	月曜日 10:10~12:00 居室 自 B214 または 研究室 自 D208		
履修者へのメッセージ	安全と健康に留意し、充実した学生生活を送ってください。		

授業科目名	クラスセミナー		
科目番号	1314012	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次	時間割	春 C 金 6; 春 C 随時
担当教員	西村 賢宣		
授業概要	クラス担任が中心となって、化学分野には、どのような基礎研究、応用研究が必要とされているかを討論形式で探求する。		
備考	化学類 1 クラス対象 金曜 6 限、7 限 (18:15-19:30) 授業として実施する		
授業形態	演習		
科目群			
水準・区分			
教育目的	科学技術の進歩、発展はめざましく人類の発展を支えてきた。科学技術の基礎は、言うまでもなく自然科学である。自然科学とは、自然現象を研究して普遍的な法則を見出そうとする学問であり、その研究対象は極めて多岐にわたる。そこで、自然科学全般を見ながら、受講する学生が各自興味のある化学分野のトピックスをテーマに選び、お互いに紹介し合うことによって、化学についての知識を広め、興味を深める。学生が主体となって授業をすすめ、担当教員は必要に応じて指導助言を行い、問題を提起して議論する。		
到達目標	本セミナーを通じて、様々な分野の自然科学について理解を深める同時に自然科学と化学研究のおもしろさに触れながら、自分の興味ある化学分野を見きわめる。各自の興味に応じて化学分野の基礎的知識を増やし、自然科学の基本的な考え方を学ぶ。また、学術著書、論文を読み、化学の基本原則についての理解を深めつつ、研究論文の読み方を学習する。さらに、研究結果のまとめ方など研究資料作成方法の基礎について学ぶ。		
キーワード	科学技術、科学技術の基礎、化学の考え方、化学の基本原則、化学と社会		
各回授業計画	随時話し合いながら進める。		
履修条件	理工学群化学類 1 年次生 1 クラス		
成績評価方法	出席と発表・レポートにより総合的に判断する。		
授業外における学習方法			
教材・参考文献	特に定めず、適宜指示する。		
オフィスアワー・連絡先	木曜日 16 時から 18 時		
履修者へのメッセージ	論理的な思考法と表現法を習得してほしい。		

授業科目名	クラスセミナー		
科目番号	1314022	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次	時間割	春 C 金 6; 春 C 随時
担当教員	藤田 健志		
授業概要	クラス担任が中心となって、化学分野には、どのような基礎研究、応用研究が必要とされているかを討論形式で探求する。		
備考	化学類 2 クラス対象 金曜 6 限、7 限 (18:15-19:30) 授業として実施する		
授業形態	演習		
科目群			
水準・区分			
教育目的	科学技術の進歩、発展はめざましく、人類の発展を支えてきた。科学技術の基盤は、言うまでもなく自然科学である。自然科学とは、自然現象を研究して普遍的な法則を見いだそうとする学問であり、その研究対象は極めて多岐にわたる。そこで自然科学全般を見ながら、受講する学生が各自興味のある化学分野のトピックスをテーマに選び、お互いに紹介し合うことによって、化学についての知識を広め、興味を深める。学生が主体となって授業をすすめ、担当教員は必要に応じて指導助言を行い、問題を提起して議論する。		
到達目標	本セミナーを通じて、様々な分野の自然科学について理解を深める。同時に、自然科学と化学研究の面白さに触れながら、自分の興味のある化学分野を見きわめる。各自の興味に応じて化学分野の基礎的知識を増やし、自然科学の基本的な考え方を学ぶ。また、学術著書、論文を読み、化学の基本原則についての理解を深めつつ、研究論文の読み方を学習する。さらに、研究結果のまとめ方など研究資料作成方法の基礎について学ぶ。		
キーワード	科学技術、科学技術の基礎、化学の考え方、化学の基本原則、化学と社会		
各回授業計画	随時話し合いながら進める。		
履修条件	理工学群化学類 1 年生 2 クラス		
成績評価方法	出席と発表・レポートにより総合的に判断する。		
授業外における学習方法			
教材・参考文献	特に定めず、適宜指示する		
オフィスアワー・連絡先	木曜日 16 時から 18 時 自然系学系棟 C202		
履修者へのメッセージ	論理的な思考法と表現法を習得してほしい。		

授業科目名	情報リテラシ実習		
科目番号	1320013	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次	時間割	春 C 水・金 3; 秋 ABC 水 3
担当教員	中山 伸一		
授業概要	レポートライティング、テクニカルライティング、プレゼンテーション、ディベートなど、大学生の 3R's に相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。		
備考	知識学類生に限る。知識 1 年 1 クラスと 2 年次以上対象。初回はユニオン講義室に集合。CDP		
授業形態	実習・実験・実技		
科目群			
水準・区分			
教育目的	授業を理解し、試験やレポートでよい評価を得るためには、答案やレポートの文章表現が上達するだけでなく、友人と日ごろから授業について話し合い、わからないところを教え合うといったことが重要になる。そのためには、友人に積極的に声をかけ、何に困っているかを説明し、相手の話を聞く、いわゆるコミュニケーション力を向上させなければならない。そこで、前半ではグループワークによってコミュニケーションスキルを学び、後半ではレポート作成とプレゼンテーションの方法を学ぶ。		
到達目標	1. 友人が増え、授業や生活について相談ができるようになること。 2. レポートの書き方が上達させること。 3. プレゼンテーションが上達させること。		
キーワード	グループワーク, コミュニケーション力, レポート作成力, プレゼンテーション力		
各回授業計画	第 1 回【7 月 5 日(水)】 オリエンテーション <hr/> 第 2 回【7 月 7 日(金)】 ビブリオバトル <hr/> 第 3 回【7 月 12 日(水)】 新聞記事へのコメント共有 <hr/> 第 4 回【7 月 14 日(金)】 スポット紹介 <hr/> 第 5 回【7 月 19 日(水)】 名刺づくり <hr/> 第 6 回【7 月 21 日(金)】 ポスター設計 <hr/> 第 7 回【8 月 2 日(水)3 限】 ポスター発表(1) <hr/> 第 8 回【8 月 2 日(水)4 限】 ポスター発表(2) <hr/> 第 9 回【8 月 4 日(金)3 限】 自己アピール <hr/> 第 10 回【8 月 4 日(金)4 限】 まとめ・最終課題 <hr/> 第 11 回【10 月 4 日(水)】 オリエンテーション <hr/> 第 12 回【10 月 18 日(水)】 フリーディスカッション(クラス別) <hr/> 第 13 回【10 月 25 日(水)】 国際インターンシップの体験報告会 <hr/> 第 14 回【11 月 8 日(水)】 教科書 第 1・2 章		

	第 15 回【11 月 15 日(水)】 教科書 第 3 章
	第 16 回【12 月 6 日(水)】 教科書 第 5 章
	第 17 回【1 月 24 日(水)】 教科書 第 6 章
	第 18 回【1 月 31 日(水)3 限】 学類の学びを振り返る
	第 19 回【2 月 7 日(水)3 限】 プレゼンテーション
	第 20 回【2 月 7 日(水)4 限】 プレゼンテーション
履修条件	知識情報・図書館学類生に限る。クラスごとに指定された科目番号で履修すること。
成績評価方法	各回の活動状況(40%)、宿題(50%)、出席(10%)
授業外における学習方法	他の授業や大学生生活全般において本科目で身につけたスキルを実行する。
教材・参考文献	1. 井下千似子. 思考を鍛えるレポート・論文作成法(第 2 版). 慶應義塾大学出版会, 2014, 160p.
オフィスアワー・連絡先	
履修者へのメッセージ	誰しも最初は不安なものです。

授業科目名	情報リテラシ実習		
科目番号	1320023	単位数	1.0単位
標準履修年次	1年次	時間割	春C水・金3; 秋ABC水3
担当教員	松村 敦		
授業概要	レポートライティング、テクニカルライティング、プレゼンテーション、ディベートなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。		
備考	知識学類生に限る。知識1年2クラス対象。初回はユニオン講義室に集合。 CDP		
授業形態	実習・実験・実技		
科目群			
水準・区分			
教育目的	授業を理解し、試験やレポートでよい評価を得るためには、答案やレポートの文章表現が上達するだけでなく、友人と日ごろから授業について話し合い、わからないところを教え合うといったことが重要になる。そのためには、友人に積極的に声をかけ、何に困っているかを説明し、相手の話を聞く、いわゆるコミュニケーション力を向上させなければならない。そこで、前半ではグループワークによってコミュニケーションスキルを学び、後半ではレポート作成とプレゼンテーションの方法を学ぶ。		
到達目標	1. 友人が増え、授業や生活について相談ができるようになること。 2. レポートの書き方が上達させること。 3. プレゼンテーションが上達させること。		
キーワード	グループワーク, コミュニケーション力, レポート作成力, プレゼンテーション力		
各回授業計画	第1回【7月5日(水)】 オリエンテーション <hr/> 第2回【7月7日(金)】 ビブリオバトル <hr/> 第3回【7月12日(水)】 新聞記事へのコメント共有 <hr/> 第4回【7月14日(金)】 スポット紹介 <hr/> 第5回【7月19日(水)】 名刺づくり <hr/> 第6回【7月21日(金)】 ポスター設計 <hr/> 第7回【8月2日(水)3限】 ポスター発表(1) <hr/> 第8回【8月2日(水)4限】 ポスター発表(2) <hr/> 第9回【8月4日(金)3限】 自己アピール <hr/> 第10回【8月4日(金)4限】 まとめ・最終課題 <hr/> 第11回【10月4日(水)】 オリエンテーション <hr/> 第12回【10月18日(水)】 フリーディスカッション(クラス別) <hr/> 第13回【10月25日(水)】 国際インターンシップの体験報告会 <hr/> 第14回【11月8日(水)】 教科書 第1・2章		

	第15回【11月15日(水)】 教科書 第3章
	第16回【12月6日(水)】 教科書 第5章
	第17回【1月24日(水)】 教科書 第6章
	第18回【1月31日(水)3限】 学類の学びを振り返る
	第19回【2月7日(水)3限】 プレゼンテーション
	第20回【2月7日(水)4限】 プレゼンテーション
履修条件	知識情報・図書館学類生に限る。クラスごとに指定された科目番号で履修すること。
成績評価方法	各回の活動状況(40%)、宿題(50%)、出席(10%)
授業外における学習方法	他の授業や大学生活全般において本科目で身につけたスキルを実行する。
教材・参考文献	1. 井下千似子, 思考を鍛えるレポート・論文作成法(第2版). 慶應義塾大学出版会, 2014, 160p.
オフィスアワー・連絡先	
履修者へのメッセージ	誰しも最初は不安なものです。

授業科目名	情報リテラシ実習		
科目番号	1320033	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次	時間割	春 C 水・金 3; 秋 ABC 水 3
担当教員	村井 麻衣子		
授業概要	レポートライティング、テクニカルライティング、プレゼンテーション、ディベートなど、大学生の 3R's に相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。		
備考	知識学類生に限る。知識 1 年 3 クラス対象。初回はユニオン講義室に集合。 CDP		
授業形態	実習・実験・実技		
科目群			
水準・区分			
教育目的	授業を理解し、試験やレポートでよい評価を得るためには、答案やレポートの文章表現が上達するだけでなく、友人と日ごろから授業について話し合い、わからないところを教え合うといったことが重要になる。そのためには、友人に積極的に声をかけ、何に困っているかを説明し、相手の話を聞く、いわゆるコミュニケーション力を向上させなければならない。そこで、前半ではグループワークによってコミュニケーションスキルを学び、後半ではレポート作成とプレゼンテーションの方法を学ぶ。		
到達目標	1. 友人が増え、授業や生活について相談ができるようになること。 2. レポートの書き方が上達させること。 3. プレゼンテーションが上達させること。		
キーワード	グループワーク, コミュニケーション力, レポート作成力, プレゼンテーション力		
各回授業計画	第 1 回【7 月 5 日(水)】 オリエンテーション <hr/> 第 2 回【7 月 7 日(金)】 ビブリオバトル <hr/> 第 3 回【7 月 12 日(水)】 新聞記事へのコメント共有 <hr/> 第 4 回【7 月 14 日(金)】 スポット紹介 <hr/> 第 5 回【7 月 19 日(水)】 名刺づくり <hr/> 第 6 回【7 月 21 日(金)】 ポスター設計 <hr/> 第 7 回【8 月 2 日(水)3 限】 ポスター発表(1) <hr/> 第 8 回【8 月 2 日(水)4 限】 ポスター発表(2) <hr/> 第 9 回【8 月 4 日(金)3 限】 自己アピール <hr/> 第 10 回【8 月 4 日(金)4 限】 まとめ・最終課題 <hr/> 第 11 回【10 月 4 日(水)】 オリエンテーション <hr/> 第 12 回【10 月 18 日(水)】 フリーディスカッション(クラス別) <hr/> 第 13 回【10 月 25 日(水)】 国際インターンシップの体験報告会 <hr/> 第 14 回【11 月 8 日(水)】 教科書 第 1・2 章		

	第 15 回【11 月 15 日(水)】 教科書 第 3 章
	第 16 回【12 月 6 日(水)】 教科書 第 5 章
	第 17 回【1 月 24 日(水)】 教科書 第 6 章
	第 18 回【1 月 31 日(水)3 限】 学類の学びを振り返る
	第 19 回【2 月 7 日(水)3 限】 プレゼンテーション
	第 20 回【2 月 7 日(水)4 限】 プレゼンテーション
履修条件	知識情報・図書館学類生に限る。所属クラスごとに指定された科目番号で履修すること。
成績評価方法	各回の活動状況(40%)、宿題(50%)、出席(10%)
授業外における学習方法	他の授業や大学生生活全般において本科目で身につけたスキルを実行する。
教材・参考文献	1. 井下千似子. 思考を鍛えるレポート・論文作成法(第 2 版). 慶應義塾大学出版会, 2014, 160p.
オフィスアワー・連絡先	
履修者へのメッセージ	誰しも最初は不安なものです。

授業科目名	情報リテラシ実習		
科目番号	1320043	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次	時間割	春 C 水・金 3; 秋 ABC 水 3
担当教員	若林 啓		
授業概要	レポートライティング、テクニカルライティング、プレゼンテーション、ディベートなど、大学生の 3R's に相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。		
備考	知識学類生に限る。知識 1 年 4 クラス対象。初回はユニオン講義室に集合。 CDP		
授業形態	実習・実験・実技		
科目群			
水準・区分			
教育目的	授業を理解し、試験やレポートでよい評価を得るためには、答案やレポートの文章表現が上達するだけでなく、友人と日ごろから授業について話し合い、わからないところを教え合うといったことが重要になる。そのためには、友人に積極的に声をかけ、何に困っているかを説明し、相手の話を聞く、いわゆるコミュニケーション力を向上させなければならない。そこで、前半ではグループワークによってコミュニケーションスキルを学び、後半ではレポート作成とプレゼンテーションの方法を学ぶ。		
到達目標	1. 友人が増え、授業や生活について相談ができるようになること。 2. レポートの書き方が上達させること。 3. プレゼンテーションが上達させること。		
キーワード	グループワーク, コミュニケーション力, レポート作成力, プレゼンテーション力		
各回授業計画	第 1 回【7 月 5 日(水)】 オリエンテーション <hr/> 第 2 回【7 月 7 日(金)】 ビブリオバトル <hr/> 第 3 回【7 月 12 日(水)】 新聞記事へのコメント共有 <hr/> 第 4 回【7 月 14 日(金)】 スポット紹介 <hr/> 第 5 回【7 月 19 日(水)】 名刺づくり <hr/> 第 6 回【7 月 21 日(金)】 ポスター設計 <hr/> 第 7 回【8 月 2 日(水)3 限】 ポスター発表(1) <hr/> 第 8 回【8 月 2 日(水)4 限】 ポスター発表(2) <hr/> 第 9 回【8 月 4 日(金)3 限】 自己アピール <hr/> 第 10 回【8 月 4 日(金)4 限】 まとめ・最終課題 <hr/> 第 11 回【10 月 4 日(水)】 オリエンテーション <hr/> 第 12 回【10 月 18 日(水)】 フリーディスカッション(クラス別) <hr/> 第 13 回【10 月 25 日(水)】 国際インターンシップの体験報告会 <hr/> 第 14 回【11 月 8 日(水)】 教科書 第 1・2 章		

	第 15 回【11 月 15 日(水)】 教科書 第 3 章
	第 16 回【12 月 6 日(水)】 教科書 第 5 章
	第 17 回【1 月 24 日(水)】 教科書 第 6 章
	第 18 回【1 月 31 日(水)3 限】 学類の学びを振り返る
	第 19 回【2 月 7 日(水)3 限】 プレゼンテーション
	第 20 回【2 月 7 日(水)4 限】 プレゼンテーション
履修条件	知識情報・図書館学類生に限る。所属クラスごとに指定された科目番号で履修すること。
成績評価方法	各回の活動状況(40%)、宿題(50%)、出席(10%)
授業外における学習方法	他の授業や大学生生活全般において本科目で身につけたスキルを実行する。
教材・参考文献	1. 井下千似子. 思考を鍛えるレポート・論文作成法(第 2 版). 慶應義塾大学出版会, 2014, 160p.
オフィスアワー・連絡先	
履修者へのメッセージ	誰しも最初は不安なものです。